

トルコ ザクロの需要増で12月の輸出量は増加の見込み

FreshPlaza 2023年11月6日

トルコの青果物輸出業者であるアラナール社で販売コーディネーターを務めるイギット・ギョキギット氏は、クリスマスが近づくにつれザクロの需要が高まっていると言う(以下「」は同氏の発言)。「トルコ産ザクロの出荷シーズンは先月始まった。これまでのところ、市場全体で十分な需要がある。今シーズンのザクロの消費量は、国内市場のほか世界の消費者の間でも高いと考えている。一般的に、ザクロはクリスマスの前後に需要が高まる。この傾向は毎年繰り返されており、今年も例外ではない。その結果、12月から2月、あるいは3月にかけて、例年より多くの果実を輸出できると期待している。」

現時点で語るのは時期尚早だが、同氏は出荷シーズンは2月末まで続くと考えている。それは、貯蔵中の果実がどれだけ良い品質を保てるかにかかっていると同氏は説明する。「現時点では、出荷シーズンがいつまで続くかは分からない。トルコのザクロの収穫は通常9月または10月に完了するが、品質が安定している限り、果実は市場に出回る。2月下旬ないしは3月上旬まで貯蔵庫のザクロを良好な品質に保てると思う。弊社は、2023年は2月末まで、最高級品質のザクロを主要な取引先に輸出することができた。今年は、弊社のザクロは、ほとんどがドイツとイギリスの大手スーパーマーケットチェーンの棚に並ぶことになるだろう。」

出荷シーズンが進み、在庫が減るにつれて、ザクロの価格は上昇する。「今シーズンは販売量を増やすつもりである。弊社の品質へのこだわりのおかげで、取引先は何年にもわたって弊社と仕事をする気を持ち続けてくれている。来月に入ると休暇シーズンが始まり、さらに忙しくなると予想している。その間に市場の在庫が減少するため、12月以降はおそらく週単位で見てもわずかながら価格が上昇するだろう。弊社はベルリンで開催されるフルーツロジスティカ(果実展示商談会)2024に例年どおりブースを出展する。これは、ザクロの輸出業者と買い付け業者が一緒になって、今後の計画を立てる主要なイベントである。」

執筆: ニック・ピーターズ

米国 カリフォルニア州産のカキは大玉

FreshPlaza 2023年11月6日

カキの季節が到来し、カリフォルニア州からのカキの供給は安定している。パリ青果会社のジャスティン・ベドウェル氏は、「春に雨が多くて涼しかったため約7日遅れているが、これからのシーズンに向けて供給は順調だと思う」と述べている(以下「」は同氏の発言)。同社の契約生産者の拠点はリードリー地域からフレズノ地域までの一帯であるが、カキはそれよりずっと南のベーカーズフィールド地域から入荷している。

富有と蜂屋の両品種が入荷しており、今のところ、果実は昨年に比べて少し大きい。

需要に関しては、ベドウェル氏はそれを穏やか(安定的)で、非常に高い訳ではないと表現している。「カキの消費は秋から冬の休暇シーズンを通して堅調に推移するだろう。」蜂谷品種はこのシーズンの焼き菓子づくりなどに使用されるため、カキは休日の果実と見なされることも多い。

高めの価格

一方、価格は2週間前に比べて下落傾向にあるが、これはおかしなことではない。「2022年と比較すると、価格は部分的に、あるいはわずかに高くなっているようである。」

今後のカキのシーズンは、天候に恵まれて収穫スケジュールどおりの安定した供給が続くと予想される。これは、労務管理に役立つ。「収穫量が安定しているということは、収穫量が変動しているときに比べて、作業員を安定的に就業させやすいということだ。」

今シーズンのカキの収穫は、来月中旬には終了する見込みである。

執筆: アストリッド・ヴァン・デン・ブローク